

立命館大学大学院
2022年度実施 入学試験
博士課程前期課程

食マネジメント研究科
食マネジメント専攻

入試方式	実施月	論述	
		ページ	備考
一般入学試験	11月	P.1～	社会人入試、 外国人留学生入試と共通
	2月	P.5～	社会人入試、 外国人留学生入試と共通
社会人入学試験	11月	P.1～	一般入試、 外国人留学生入試と共通
	2月	P.5～	一般入試、 外国人留学生入試と共通
外国人留学生入学試験	11月	P.1～	一般入試、 社会人入試と共通
	2月	P.5～	一般入試、 社会人入試と共通
学内進学入学試験	7月		
	11月		
	2月		
飛び級入学試験	2月		

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院
2022年度実施 入学試験
博士課程後期課程

食マネジメント研究科
食マネジメント専攻

後期課程では、筆記試験を実施していません。

受験番号	
氏 名	

2023 年度 立命館大学大学院
食マネジメント研究科【博士課程前期課程】
入学試験問題

筆記試験（論述）

試験時間
9：30～10：50 （80 分）

2022 年 11 月 5 日（土）

《注意事項》

1. 試験開始後、配布された問題用紙、答案用紙等の所定欄に受験番号ならびに氏名を記入してください。
2. 解答は日本語を用い、答案用紙に横書きで記入してください。
3. 試験終了後、配布した問題用紙などはすべて回収します。

問題 I

(1) 下の図 1 は、日本における牛肉と豚肉について、肉種別に全消費量における家計消費、加工仕向、外食等の消費の割合を算出した「食肉の消費構成割合（農林水産省）」に基づき作成したものです。

この図に基づいて、牛肉と豚肉の消費構成割合において 1975 年から 2020 年に生じている変化から、牛肉と豚肉の消費形態の違いを読み取り、簡潔にまとめてください。(4～8 行程度)

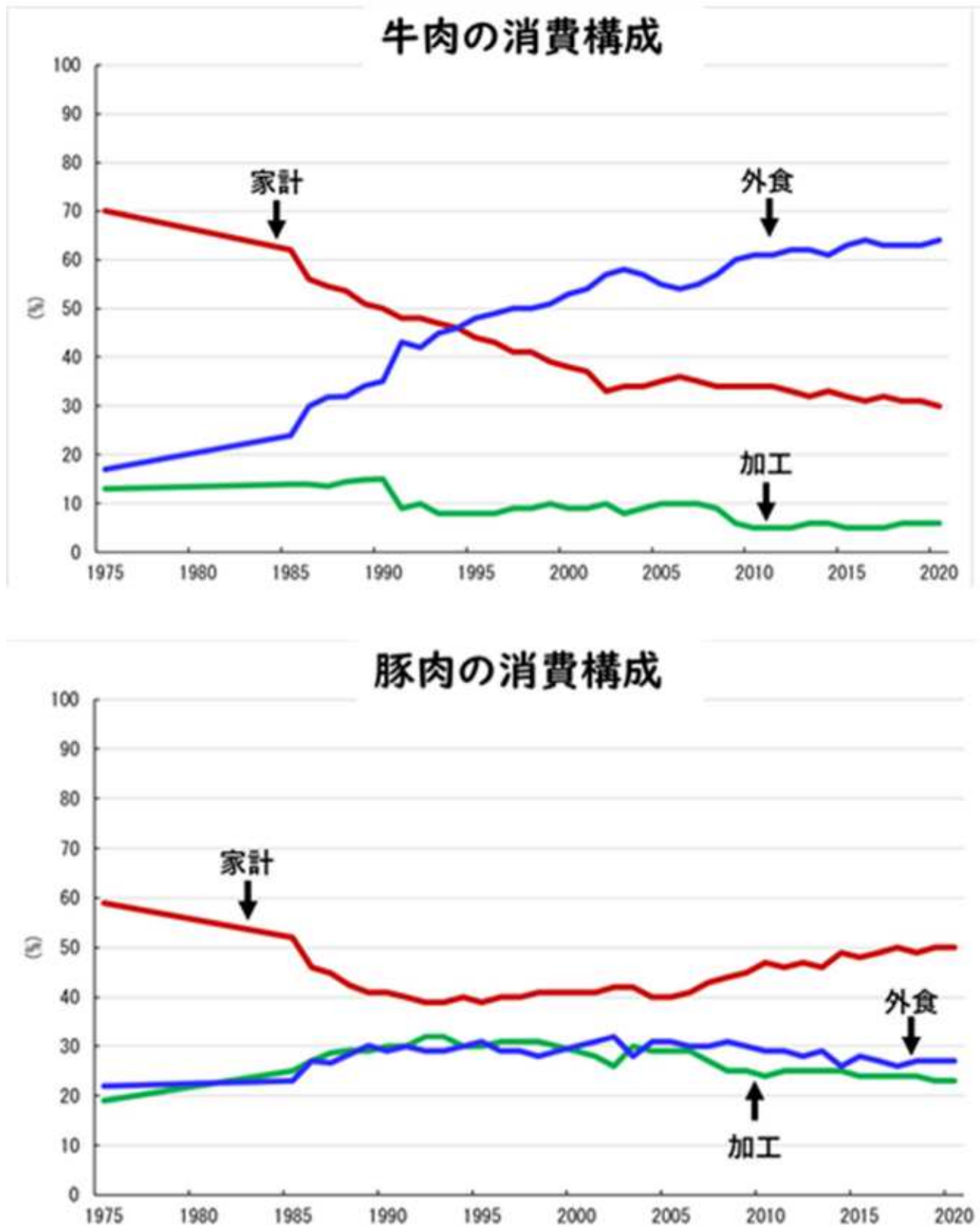


図 1 牛肉と豚肉の消費構成割合

日本における牛肉と豚肉について、肉種別に家計消費、加工仕向、外食等の消費の割合を算出した「食肉の消費構成割合（農林水産省）」に基づき作成した。<https://www.maff.go.jp/j/chikusan/shokuniku/lin/attach/pdf/index-399.pdf>

(2) 下の図 2 は、日本における牛肉、豚肉、鶏肉の年間需要量の推移について、「食料需給表（農林水産省）」の数値に基づき、作成したものです。図 2 から日本の豚肉および牛肉の需要量の変化を読み解き、図 1 に示した消費構成の割合の変化を結びつけながら、1975 年から 2020 年にかけての豚肉および牛肉の消費スタイルの変化の動向や、その原因について、あなたの考えを簡潔に述べてください。（4～8 行程度）



図 2 日本国内における肉類の年間需要量

牛肉、豚肉、鶏肉の年間需要量について、「食料需給表（農林水産省）」の数値に基づき、1975 年から 2020 年までの推移を示した。

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/fbs/>

問題Ⅱ

下のA／B／Cから1つ選んで論じてください（10行以上）。自分の研究計画と関連付けて論じてかまいません。解答用紙1枚で足りない場合は、申し出て余分の紙をもらってください。

A 食のローカル化について、国際展開をする飲食業者の視点から、論じてください。

ただし、ローカル化（Localization）とは、物事を特定の地域の特性に合わせて変えていくことを指します。

B 食品ロス対策について、家庭あるいは消費者の視点から、どのような対策が考えられるか論じてください。

C 食品の安全確保対策について、食品関連事業者の視点から論じてください。

ただし、ここでの食品の安全確保対策とは、食品を摂取した人の健康上の被害や事故を防ぐため、適切な原材料の選択や衛生管理を行う事を指します。

受験番号	
氏 名	

2023 年度 立命館大学大学院
食マネジメント研究科【博士課程前期課程】
入学試験問題

筆記試験（論述）

試験時間
9 : 30～10 : 50 （80 分）

2023 年 2 月 4 日（土）

《注意事項》

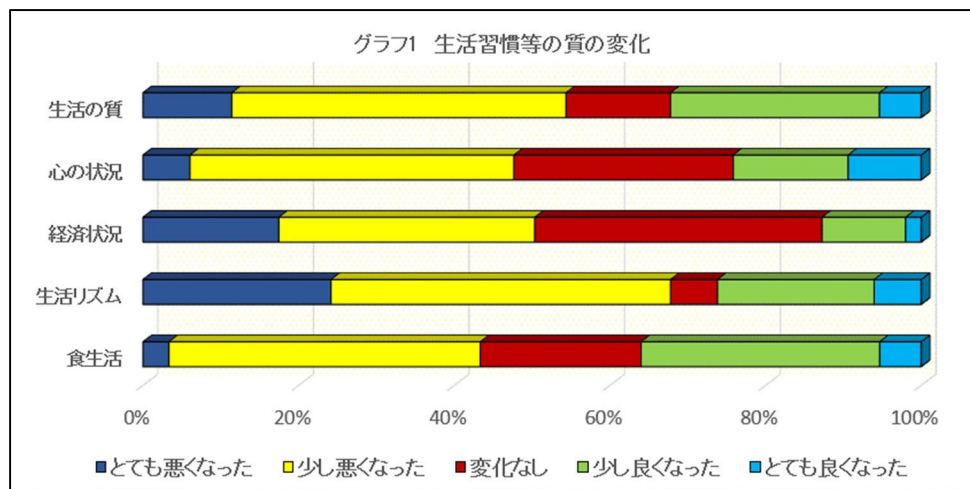
1. 試験開始後、配布された問題用紙、答案用紙等の所定欄に受験番号ならびに氏名を記入してください。
2. 解答は日本語を用い、答案用紙に横書きで記入してください。
3. 試験終了後、配布した問題用紙などはすべて回収します。

問題Ⅰ

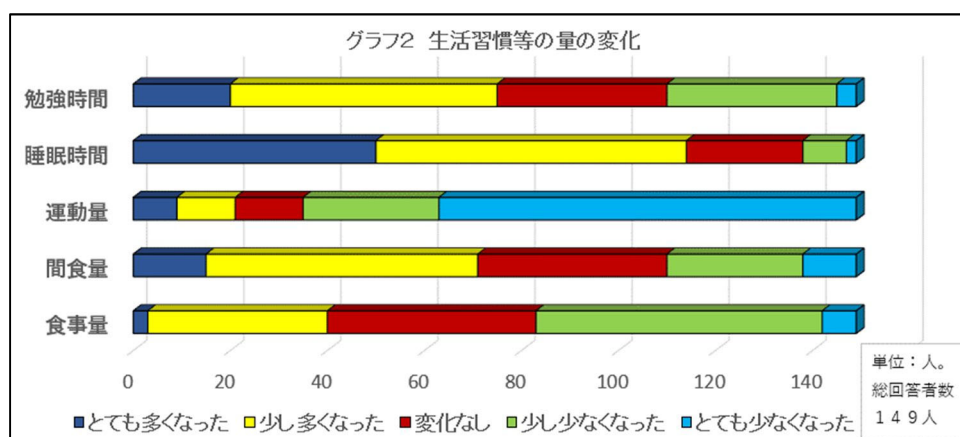
下のグラフ１とグラフ２は、女子大学生 3、4 年生計 150 名を対象に、非コロナ禍時の 2019 年 12 月と、コロナ禍時の 2020 年 5 月～6 月の生活習慣等が変化したかどうかを調査した研究です。

グラフ 1 は、コロナ禍における生活習慣等の質の変化、グラフ 2 は、コロナ禍における生活に費やした時間の量の変化を％で表したものです。

(1) 次のグラフ 1 を見て 5 つの項目から 4 つ選んで、各 4 項目の回答分布から読み取れる傾向は何か、その傾向の要因として何が考えられるか、生活や社会状況あるいは他の項目（グラフ 2 を含む）と関連付けて簡潔に述べてください。（4～8 行程度）



(2) 次のグラフ 2 を見て、5 つの項目から 4 つ選んで、各 4 項目の回答分布から読み取れる傾向は何か、その傾向の要因として何が考えられるか、生活や社会状況あるいは他の項目（グラフ 1 を含む）と関連付けて、簡潔に述べてください。（4～8 行程度）



*グラフ 1・グラフ 2 は、野原潤子他 (2021)「栄養関連学科女子大生のコロナ禍での秤量食事記録法による食生活変化」『畿央大学紀要』18(1)、の表を基に作成。

問題Ⅱ

下のA／B／Cから1つ選んで論じてください（10行以上）。自分の研究計画と関連付けて論じてもかまいません。解答用紙1枚で足りない場合は、申し出て余分の紙をもらってください。

A 食のグローバル化について、消費者の視点から論じてください。

ただしグローバル化（Globalization）とは、食の国際取引や、食関連企業の国際展開によって、国・地域の食や食材が多様にあるいは同様になっていくこととします。

B 食品表示の意義について、消費者の視点から論じてください。

ただし、ここでの食品表示とは、食品表示法が定める販売の用に供する食品に関する表示を指します。

C 食ビジネスと食文化の関係について、新しいビジネス展開を目指す食関連事業者の視点から論じてください。

ただし、食文化（Food culture）とは、食物の選択・嗜好・食べ方・価値観など食物摂取に関して、ある集団・地域・時代において一定の様式として習慣化され、共有され、伝承される生活様式であるが、集団の中にも多様性を内包し、また環境の変化や政治/経済の影響によって変化するものとします。